

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ415-3	1	森永ミルク中毒事件をめぐって—医療の立場から⑤MBD症候群	北條博厚(京都大学医学部小児科講師)	大阪保険医雑誌	1974.09.20
MZ415-4	1	(森永ミルク中毒被災児の追跡調査の精神発達に関わる調査の概要)	柳川光章(奈良教育大学障害児心理学研究室)		1971.02.01
MZ416	1②	ドライミルクによると思われる砒素性角化症の1例	田中雅祐、重見文雄(徳島大学医学部皮膚科学教室)、末広史恵(他徳島大学医学部第二内科学教室)	臨床皮膚科	1977.02.01
MZ416	2	粉乳に混在した砒素による乳児の慢性中毒症診療経験—特に皮膚症状、髄膜刺激症状について—	石井敏武(八幡市立病院)	小児科臨床	1956.12.05
MZ416	3	森永砒素ミルク中毒被災者47名の15年目の皮膚科的所見	川津智是、三木吉治、奥村雄治、田代実、川津友子(大阪大学医学部皮膚科学教室)	医学のあゆみ	1970.07.04
MZ416	4	ドライミルク中毒患児に見られた皮膚症状、特にその組織所見に就て	前田行雄、橋爪健二、安井昌孝(和歌山医大)	皮膚科性病科雑誌	1956.02.
MZ416	5	森永ドライミルク中毒による砒素黒皮症の1例	市村平(国立熊本)	皮膚科性病科雑誌	1956..
MZ416	6	粉乳中毒乳児の皮膚科学的観察	桜根好之助、佐藤弘人、宮垣信海(大阪市立大学医学部皮膚科泌尿器科)	診療	1955..
MZ416	7	今夏中国地方に流行せる流行性砒素黒皮症について	伊藤嘉夫、大黒康平(広島日赤)	皮膚と泌尿	1956.04.
MZ416	8	砒素黒皮症に就て	伊藤嘉夫(広島日赤)	皮膚科性病科雑誌	1956..
MZ416	9	砒素疹と解毒剤	野口義圀(横浜市立大学教授)	日本医事新報	1955.10.01
MZ416	10	森永砒素ミルク中毒被災者の15年目の皮膚科的所見—点状の白斑を中心として	川津智是、三木吉治、奥村雄治、田代実、川津友子、吉川邦彦(大阪大学医学部皮膚科学教室)	医学のあゆみ	1971.04.03
MZ416	11	〈冊子〉砒素混入ドライミルクによる点状白斑	坂田美緒子、村野早苗、川津智是(大阪通信病院皮膚科)、西田健樹(大阪大学医学部皮膚科学教室)	皮膚(別冊)	1981.08.
MZ416	12	砒素混入ミルク中毒被害者の青年期における皮膚症状	川津智是、坂田美緒子(大阪通信病院)、西谷宣雄(済生会野江)、大森佐与子(大阪府立公衛研)	第33回皮膚科学会	1981.11.07
MZ416	13	(第33回皮膚科学会・松山市のNHKテレビ放送内容)			1981.11.07
MZ416	14	乳児砒素中毒被災者集団の青年期における皮膚障害の実態と今後の対策	川津智是(大阪通信病院皮膚科)、西谷宣雄(小松病院皮膚科)、大森佐与子(大阪府立公衛研)	第8回医学研究助成報告集	1982..
MZ416	15	砒素混入ミルク中毒被災者の皮膚症状	川津智是(大阪通信病院)、他	第82回日本皮膚科学会総会プログラム(抄録)	1983.04.04
MZ416	16②	〈冊子〉砒素ミルク中毒被災者における皮膚症状の追跡調査	砒素ミルク中毒症追跡調査班・川津智是(大阪通信病院皮膚科)	日本皮膚科学会雑誌(別刷)	1984.07.
MZ416	17	〈冊子〉砒素ミルク中毒被災者に生じたボーエン癌	川津智是、高木圭一、調裕次、山路雅己、大畑千佳(大阪通信病院皮膚科)	皮膚(別冊)	1995.08.
MZ418-2	1	ミルク中毒被災児の眼変性について	衣笠治兵衛(大阪大学医学部眼科)	臨床眼科	1956.02.
MZ418-2	2	砒素中毒患者に見られたる眼症状に就いて	赤木五郎、奥田観士、西村勝彦、山本彰(岡山大学医学部眼科)	臨床眼科	1956.02.
MZ418-2	3	砒素中毒症の眼症状(第1報)(第2報)	堀内徹也、山岸陸男、岩垣正典、百瀬皓、畠山昭三、阿部圭助(奈良県立医大眼科学教室)	臨床眼科	1956.02.
MZ418-2	4	森永ドライミルク(砒素)中毒乳児の眼所見	池田一三(大阪市大)	眼科臨床医報	1956.07.
MZ418-2	5	森永ドライミルク中毒患者の眼症状	池田一三(大阪市大)	眼科臨床医報	1956.05.
MZ418-2	6	乳児砒素中毒の眼所見	浅山亮二、塚原勇、坂上英、今野信一(京都大学医学部眼科教室)、永井秀夫(京都大学医学部小児科教室)	臨床眼科	1956.07.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ418-2	7	粉乳中毒患者の眼症状	水田厚正(大阪市北市民病院眼科)	臨床眼科	1957.03.
MZ418-2	8	粉乳中毒患者の眼症状	水田厚正、土橋禮子(大阪市立北市民病院)	日本眼科紀要	1956.03.
MZ418-2	9	ドライミルクによる慢性砒素中毒児299名の眼所見とその発症機序の経過的観察	畑克忠、大内円太郎(岡山日赤)	日本眼科紀要	1956.03.
MZ418-2	10	ドライミルクによる慢性砒素中毒児299名の眼所見とその発症機序の経過的観察	畑克忠、大内円太郎(岡山赤十字病院)	眼科臨床医報	1956.06.
MZ418-2	11	粉乳(砒素)中毒患者の眼症状に就て	箕越中、伊達昭彦(広島県立病院)	眼科臨床医報	1956.06.
MZ418-2	12	粉乳(砒素)中毒患者の眼症状に就て	増田義哉、丸田民昭(広日本)	眼科臨床医報	1956.08.
MZ418-2	13	粉乳による慢性砒素中毒患者の眼科的所見について	石田憲吾、小野富士朗、大谷治郎(広島鉄道病院)	眼科臨床医報	1956.06.
MZ418-2	14	粉乳による慢性砒素中毒患者の眼科的所見について	石田憲吾、小野富士朗、大谷治郎(広島鉄道病院)	眼科臨床医報	1956.08.
MZ418-2	15	森永ドライミルクによる乳児砒素中毒症に就て(第5編:眼所見に就て)	柏井哲郎、池田和夫(倉敷中央病院眼科)	倉敷中央病院年報	1956.09.
MZ418-2	16	森永ミルク中毒患者の眼底に就て	崎元行夫(鹿児島市立病院眼科)	眼科臨床医報	1956.01.
MZ418-2	17	粉乳中毒乳幼児の眼底所見に就て	衣笠治兵衛(大阪大学医学部眼科)	小児保健研究	1956.01.
MZ418-2	18	<シンポジウム>粉乳中毒症患者の眼部所見 1. 広島県に於けるミルク(砒素)中毒患者の眼科合同診査報告 2. 山口県下に於ける重症粉乳中毒児の隔眼底所見について	箕越中(県立広島)、石田憲吾(広島鉄道)、増田義哉(広島日赤)、小山綾夫(広島通信)、大原弘(広島市民)、大石省三、広田雅太郎(山口医大)	眼科臨床医報	1957.09.
MZ418-2	19	乳幼児砒素中毒の観察経験	塚原勇、坂上英、今野信一(京都大学)	日本眼科紀要	1956..
MZ418-2	20	昭和30年砒素入り粉ミルク中毒被災児の眼科検診成績(続)	大鳥利文、塚本尚、別所建夫(大阪大学医学部眼科学教室)	医学のあゆみ	1971.04.03
MZ418-2	21	粉乳中毒児に於ける眼科的所見	尾崎志朗	済生	1955.11.
MZ418-2	22	森永ミルク中毒患者の眼底所見に就て	崎元行夫(鹿児島市立病院)	眼科臨床医報	1956.05.
MZ418-2	23	昭和30年の砒素入り粉ミルク中毒被災児の眼科学的検診成績	大鳥利文、塚本尚(大阪大学医学部眼科学教室)	医学のあゆみ	1970.07.04
MZ418-3	1	砒素ミルク中毒児の難聴(続報)	佐藤武男(耳鼻咽喉科学教室)	医学のあゆみ	1971.04.03
MZ418-3	2	ドライミルクによる慢性砒素中毒児の咽喉症状について	梶川泰造、清水信博(岸和田市)	耳鼻と臨床	1957.04.
MZ418-3	3	粉乳中毒(砒素)患児の咽喉所見に就て	梶川泰造、清水信博、梶川玄治	日本耳鼻咽喉科学会報	1956.09.
MZ418-3	4	粉乳中毒児(As)の耳鼻咽喉科臨床症状	梶川泰造、清水信博(岸和田市)	日本耳鼻咽喉科学会報	1956.08.
MZ418-3	5	慢性砒素中毒(粉乳中毒)にみられる嗄声について	広戸畿一郎、藤代禎子(京都大学医学部耳鼻咽喉科学教室)	耳鼻咽喉臨床	1955.12.
MZ418-3	6	砒素ミルク中毒児の難聴	佐藤武男(大阪大学医学部耳鼻咽喉科学教室)	医学のあゆみ	1970.07.04
MZ419-0	1	日本衛生学会が内田常雄厚生大臣に宛てた要望書(手書き原稿)	石崎有信(日本衛生学会会長)		1970..
MZ419-0	2	日本公衆衛生学会理事会へ提出した丸山博評議員の要望書(手書き原稿)	丸山博(大阪大学医学部衛生学教授)		1969.11.19
MZ419-1	1	飲用牛乳の在り方について—森永乳業徳島工場製ドライミルク中道事件に関連して	篠永紫門(麻布獣医科大学)	獣医畜産新報	1955..
MZ419-1	2	砒素中毒について	池田良雄(国立衛生試験所薬理部長)	薬局	1956.05.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ419-1	3	森永MF印調製粉乳事件について	佐竹繁男(国立衛生試験所)	食品衛生研究	1955.11.
MZ419-1	4	砒素による粉ミルク中毒	川城巖(国立衛生試験所)	衛生化学	1957.02.
MZ419-1	5	座談会・最近の食品衛生問題をめぐって 小島三郎(国立予防衛生研究所長)、小谷新太郎(厚生省食品衛生課長)、池田良雄(東京都衛生研究所)、長沢佳熊(国立衛生試験所研究部長)、山下正雄(東京都衛生局)、川端俊治(国立予防衛生研究所)、松井武夫(国立公衆衛生院)、柳澤文徳(千葉大学腐敗研究所)		日本公衆衛生雑誌	1956.05.15
MZ419-1	6	森永「砒素」ミルク中毒被災者をめぐる衛生学上の諸問題	飯淵康雄(関西医科大学公衆衛生学)、丸山博(大阪大学衛生学)	日衛誌	1971.04.
MZ419-1	7	「公害」としての食中毒 森永砒素ミルク事件(1) 「14年目の訪問」から	南雲清(代々木病院内科)	健康会議	1970.02.01
MZ419-1	8	「公害」としての食中毒 森永砒素ミルク事件(2) 砒素ミルク中毒の追求	南雲清(代々木病院内科)	健康会議	1970.03.01
MZ419-1	9	特集“食禍”のなかの人間 食品の哲学と科学	丸山博(大阪大学医学部衛生学教授)	科学朝日	1970.02.
MZ419-1	10	いわゆる食品公害の問題について	丸山博(大阪大学医学部教授)	大阪大学教養部報	1970.05.09
MZ419-2	1	森永ミルク中毒被害者の健康調査—1970年より3年間の健康状態の推移	上畑鉄之丞、笹川七三子(杏林大学医学部衛生学教室)、水落理、重見公平(岡山協立病院)、松岡健一、湯原淳良(水島協同病院)		1975.08.
MZ419-2	2	A FOLLOW-UP SURVEY ON THE DISEASED CONDITIONS CAUSED BY THE MORINAGA ARSENIC MILK POISONING—PERFORMED 15 YEARS AFTER THE EVENT	上畑鉄之丞(杏林大学医学部)	医学の社会的貢献に関する第7回世界会議	1976.04.27
MZ419-2	3	日本小児科学会森永砒素ミルク中毒調査小委員会(特別委員会)活動報告要旨	中村豊(日本小児科学会森永砒素ミルク中毒調査小委員会委員長)		1973.05.26
MZ419-2	4	森永砒素ミルク中毒調査の統計的整理について			1970.03.
MZ419-2	5	〈冊子〉森永ミルク中毒の子どもを守る会以外の被災児に関する第1次調査報告	岡大医学部衛生学教室学Ⅱ実習グループ14名		1970.05.
MZ419-2	6	森永砒素ミルク中毒児家庭への訪問事例	飯淵康雄(関西医科大学講師)	医学のあゆみ	1971.04.03
MZ419-2	7	〈冊子〉日本小児科学会森永砒素ミルク中毒調査小委員会中間報告	日本小児科学会森永砒素ミルク中毒調査小委員会		1972.03.25
MZ419-2	8	森永砒素中毒児の健康管理にとりくんで二年	常久勢子(水島協同病院)	水島協同病院資料	1972.03.26
MZ419-2	9①	〈冊子〉京都における森永ひ素ミルク中毒被災児の現状	山下節義、土居真、西尾雅七(京都大学医学部公衆衛生学教室)、北條博厚(京都大学医学部小児科学教室)、田中昌人(京都大学教育学部)	日本衛生学雑誌(別冊)	1972.10.
MZ419-2	9②	京都における森永ひ素ミルク中毒被災児の現状	山下節義、土居真、西尾雅七(京都大学医学部公衆衛生学教室)、北條博厚(京都大学医学部小児科学教室)、田中昌人(京都大学教育学部)	日本衛生学雑誌	1972.10.
MZ419-2	10②	〈冊子〉森永砒素ミルク中毒に関する疫学調査—瀬野地区における広大・岡大合同検診最終報告—	大平昌彦、青山英康(合同検診班代表:岡山大学医学部衛生学教室)	日本衛生学雑誌(別冊)	1973.02.
MZ419-2	11	大阪府に於けるMF印粉乳中毒事件の疫学的研究	阿形栄一(大阪府衛生部)	小児保健研究	1956.12.
MZ419-2	12	森永ヒ素ミルク中毒後遺症について(その1)	麻生泰弘(島根大学文理)	シンポジウム「統計的因果関係」における講演内容メモ	1972.12.22
MZ419-2	13	砒素ミルク被災児発達史調査資料(中間報告)	森永砒素ミルク中毒被災児後遺症調査研究班(岡山)		1970.05.
MZ419-2	14	森永砒素ミルク中毒症追跡調査について	中川米造(大阪大学医学部医学概論教室)、飯淵康雄(大阪大学医学部衛生学教室)	医学のあゆみ	1970.07.04
MZ419-2	15	〈冊子〉森永ミルク中毒の子供たちの現状—父母の手記から—	大阪府森永ミルク中毒対策会議準備会	第28回日本公衆衛生学会シンポジウム参考資料	1970.10.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ419-2	16	〈冊子〉森永ミルク中毒追跡調査・中間報告	奈良県森永ミルク中毒対策会議		1971.02.21
MZ419-2	17	〈冊子〉森永ミルク中毒被災者の健康調査—17年目の現状—	岡山協立病院、前田啓子(CW)、森田英子(CW)、石坂美津子(保健婦)、高木美砂子(保健婦)、上畑鉄之丞(医師)		1972.03.
MZ419-2	18	京都における森永ひ素ミルク中毒「被災児」の実態	山下節義、西尾雅七(京都大学医学部公衆衛生学教室)	第42回日本衛生学会演題番号213追加資料	1972.04.05
MZ419-2	19	特集・住民とともに歩む一つの姿勢 “14年目の訪問”をめぐって ……森永ミルク中毒事後調査の会(稲村晃江、大塚睦子、篠原房子、富家禎子、松尾礼子) ○“14年目の訪問”活動のその後……水谷玲子 ○今後の活動に対する“守る会”の要望……細川一真 ○“15年目の訪問”で教えられたこと……清水弘子 ○はばたけ！……丸山博 ○一市民として、一労働者として……浦田直美 ○その保健婦活動の基礎と自治体労働組合……富家孝	森永ミルク中毒事後調査の会	保健婦雑誌(別冊)	1972.04.10
MZ419-2	20	〈冊子〉森永ヒ素ミルク中毒被災児のケース報告	上畑鉄之丞、前田啓子、田原幸子(岡山協立病院)		1970.05.
MZ419-2	21	森永ヒソミルク中毒後遺症者の生活史的考察	上畑鉄之丞、前田啓子、田原幸子(岡山協立病院)	森永ヒソミルク中毒後遺症に関する学術シンポジウム資料	1970.05.31
MZ419-2	22	森永ヒソミルク中毒被災児の健康調査(第1報)	上畑鉄之丞(岡山協立病院)、丸屋博(水島協同病院)	日本衛生学雑誌	1971.04.
MZ419-2	23	森永ヒソミルク中毒被災児の健康調査(第2報)	上畑鉄之丞(岡山協立病院)、丸屋博(水島協同病院)	日本衛生学雑誌	1972.04.
MZ419-2	24	森永ヒソミルク中毒被災児の死亡数について	上畑鉄之丞、笹川七三子(杏林大学医学部衛生学)	日本公衆衛生雑誌	1973.10.
MZ419-2	25	森永ヒソミルク中毒被災児の健康調査(第3報)	上畑鉄之丞、笹川七三子(杏林大学医学部衛生学)	日本衛生学雑誌	1974.04.
MZ419-2	26	〈冊子〉僻地における森永ミルク中毒被害児の実態	阪本欣三郎(立命館大学)	立命館大学人文科学研究所紀要	1974.08.
MZ419-2	27	〈冊子〉森永ミルク中毒被害者の健康調査—1970年より4年間の健康状態の推移	上畑鉄之丞、笹川七三子(杏林大学医学部衛生学教室)、水落理、重見公平(岡山協立病院)、松岡健一、湯原淳良(水島協同病院)	医学評論(別刷)	1977.03.25
MZ419-2	28	兵庫県下における砒素混入粉ミルク事件の展望	山崎良文(健康保健中央病院小児科)、居村茂徳、石田いし子(兵庫県衛生部医務課)	兵庫県医師会雑誌	1956.09.
MZ419-2	29	14年目の訪問(タイプ打ち)	森永砒素ミルク中毒事後調査の会		1969.09.
MZ419-2	30	森永ミルク砒素中毒児の健康調査	佐野俊平(元岡山県粉乳砒素中毒調査委員会副委員長)	岡山県医師会報	1973.01.10
MZ419-2	31	〈冊子〉第1回自主連続シンポジウム 森永ヒ素ミルク中毒事件—健康破壊の実態	自主連続シンポ実行委員会		1973.05.12
MZ419-2	32	〈冊子〉森永ミルク中毒被災児の生活史に関する研究	上畑鉄之丞(杏林大学医学部)	杏林医学会雑誌(別刷)	1974.03.30
MZ419-2	33	森永砒素ミルク中毒被害者に関する疫学調査 (2)某地域における発達・発育上の問題点	青山英康、吉田健男、大平昌彦、大原啓志、小野昭雄、和気健三、五島正規、藤田征男、小河孝則(岡山大学医学部衛生学教室)	日本衛生学雑誌	1972.04.
MZ419-2	34	〈冊子〉丸山報告に関する学会記録		第27回日本公衆衛生学会経過報告書	1970.03.
MZ419-2	35	〈冊子〉学会総会の発言・討議をめぐる事実経過—警官導入問題も含めて		第27回日本公衆衛生学会経過報告書	1970.03.

区分	No.	標題	著編者・作成者(所属等)	掲載誌紙名	発行年月日
MZ419-2	36	〈冊子〉シンポジウム:有害食品—その実態と対策—森永砒素ミルク中毒事件およびカネミ米ぬか油中毒事件を いとぐちとして—(第28回日本公衆衛生学会シンポジウム) 司会者 東田敏夫(関西医科大学公衆衛生学教室) 助言者 丸山博(大阪大学医学部衛生学教室) 柳沢文徳(東京医科歯科大学医学部) 討議者 1.カネミ米ぬか油中毒の場合 吉村健清(九州大学医学部公衆衛生学教室) 2.森永砒素ミルク中毒の場合 吉田健男(岡山大学医学部衛生学教室) 3.食品衛生行政の立場から 鷺淵茂(厚生省環境衛生局食品衛生課) 4.食品工業技術の立場から 吉田勉(東京都立立川短期大学) 5.被害者・消費者の立場から 岡村渥子(弁護士) 予定発言者 北村藤一(森永ミルク中毒の子供を守る会) 宇治野数己(カネミライスオイル中毒被害者の会) 伊藤幸夫(北九州市衛生局)		保健婦雑誌(別冊)	1971.07.01
MZ419-2	37	森永MF印調製粉乳中毒事件の疫学的所見について	岩崎辻男、島崎卓郎、桑原詢、浅沼喜嗣雄、石原義紀、坪井章(岡山県衛生部)	日本公衆衛生雑誌	1956.11.
MZ419-2	38	公衆衛生学会演題541に対する追加(手書き原稿)	大森誠(結核予防会岡山県支部付属病院)		1969.11.05
MZ419-2	39	昭和30年(1955)に砒素入り粉乳をのまされて生き残った人々は、今日どのような医学上の問題をかかえているか	大阪大学衛生学教室	第169回SCC資料	1969.10.18
MZ419-2	40	14年前の森永MF砒素ミルク中毒患者は、そのごどうなっているか	飯淵康雄、丸山博(大阪大学医学部衛生学教室)、浦田直美(大阪府立公衆衛生研究所)	日本公衆衛生雑誌	1969.10.30
MZ419-2	41	〈冊子〉資料・大阪府における森永ミルク中毒被害者社会福祉調査	大阪府森永ミルク中毒被害児精密検診委員会		1975..
MZ419-2	42	〈冊子〉14年目の訪問(ガリ刷り)	森永砒素ミルク中毒事後調査の会		1969.09.
MZ419-2	43	病弱・虚弱・その他の理由によって保健上特に監視・配慮している者	大阪市教員九委員会学校保健課・大阪大学医学部衛生学教室		1970.02.
MZ419-2	44	14年目の訪問を終えて	保健婦有志「はばたけ」(代表・斎藤恭子)	保健婦雑誌	1970.04.10
MZ419-2	45	森永ミルク中毒事件と民医連のとりくみ—経過と問題点—	岡山民医連	第1回森永ヒソミルク中毒後遺症検討会資料	1970.05.30
MZ419-2	46	森永砒素ミルク中毒についての疫学的調査研究(瀬野地区における調査を中心として)	大平昌彦(岡山大学医学部衛生学教室)		1973..
MZ419-2	47	森永砒素ミルク中毒児の追跡調査と養護教諭の職務	大塚睦子(堺養護学校養護教諭)	大阪府立高等学校保健会誌	1971.01.09
MZ419-2	48	中毒事例の情報組織と管理方式 案(未定稿)	日本公衆衛生学会中毒事件疫学調査委員会		1971.10.
MZ419-2	49	「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」(略称・中毒事件疫学調査委員会)第2次中間報告(案)	辻達彦(委員会委員長)	第30回日本公衆衛生学会総会役員会提出予定報告原案	1971.10.01
MZ419-2	50	森永砒素ミルク中毒後遺症調査表	日本小児科学会臨床小委員会		1972.01.11
MZ419-2	51	森永砒素ミルク中毒後遺症に関する統一カルテについて(手書き)	日本小児科学会臨床小委員会		1972.01.11
MZ419-2	52	〈冊子〉日本公衆衛生学会「中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会」報告	中毒事件等の疫学調査ならびに対策に関する委員会		1972.10.
MZ419-2	53	〈冊子〉岡山県粉乳砒素中毒調査委員会の報告書 ①報告書 付属資料1:専門委員会のまとめ 付属資料2:岡山県下の粉乳砒素中毒患児の中学校3年における健康診断知能検査調べ(岡山県衛生部) ②森永ミルク砒素中毒児の健康調査……佐野俊平 ③森永ミルク砒素中毒児健康調査のメモ……大和人士、佐野俊平	岡山県粉乳砒素中毒調査委員会		1972.12.
MZ419-2	54	〈冊子〉岡山県粉乳砒素中毒調査委員会の報告書 ①報告書 ②付属資料1:専門委員会のまとめ ③付属資料3:岡山県下の粉乳砒素中毒患児の中学校3年における健康診断知能検査調べ(岡山県衛生部)	岡山県粉乳砒素中毒調査委員会		1972.12.